

## 会員アンケート（抜粋）

和歌山県小中学校事務研究会は「学校にいることを大切にしながら」日々の仕事を行っています。その「学校にいるからこそ」感じるやりがいについて、会員の意見を聞き、「きのくに和歌山プラン」の三つの視点別にまとめてみました。

### 実務のスペシャリストである学校事務職員

#### 子どもとの関わり

- 修理したことに子どもは意外と気づき、うれしそうな様子を見せてくれる。また、自分が修理したことで、子どもたちが大事に使ってくれるようになる。
- 子どもに関わって、子どもが喜ぶ仕事が出来た時、喜んでいる姿を見ることが出来た時、それがあからこそ、学校で仕事をしている価値があると思う。
- 何かをしてお礼を言われなくても当たり前、私の仕事だから。でも、言われると嬉しいのは何故かな？元気な子どもたちを見て幸せを感じているから？

#### 教職員との関わり

- 管理職から学校運営に関して相談を受けたとき
- 授業を見に行き、教室の壊れた箇所やどのようなものが必要なのかを確認します。
- 校務分掌上の仕事は出来るだけ滞り無く、正確に処理していきます。日々を、一月を、一年を振り返ったとき、「やれている！」と確信できたとき、頑張ったなと思いたいです。

#### 保護者との関わり

- 保護者の方から「話しやすいから・・・」と、経済的なことで困っていることなど話をしてくれました。
- 保護者からの質問に、即答できなかつたり、違った内容で把握していて答えてしまつたり、伝言をきちんと伝えられなかつたりと、落ち込みました。今後は「この人に言えば、伝えれば間違いない」と思われるようになりたい。

#### その他

- 事務職員としての仕事の正確さなどはもちろんですが、一人一人違うカラーを出せる、誰がやっても同じでない所にこの仕事のやりがいを感じます。
- 学校予算の削減が年々行われるようになり、危機感を覚えました。そこで学校予算の年度ごとの推移や、執行内容の分析、同規模の近隣校との予算比較、学校内での節約実態など資料を作成し、教育委員会担当者に財政当局との交渉資料として渡したことがあります。翌年から削減が止まりました。結果が出たことにやりがいを感じました。

### 子どもの願いがわかる学校事務職員

#### 子どもとの関わり

- 大掃除の時、床磨き剤を使用するため、ビニール手袋を事前に用意していたら、敏感肌の生徒がわざわざお礼を言いにくてくれた。何気なくやっていることでもそのような時はとても嬉しく、また頑張ろうという意欲が出てきます。
- 卒業記念品のプレゼントを、生徒会担当者と相談し変更しました。普段は文句を言つたり、素直に喜びを表現できない年頃の生徒が、「これ欲しかったです」と愛用してくれている様子を見て、小さくガッツポーズしました。些細な事でも喜んでくれたり、感謝の言葉を頂くとやりがいを感じます。

#### 教職員とのかかわり

- 現職教育(校内研修)に参加し、教材教具の準備・購入・修繕について話ができる。
- 若い方が増え、手当等についての相談が多くなりました。相談に乗ることにより職員が安心して生活できるようにすること、そのためにも学校現場でいないとね。
- 家庭が大変な子どもの情報を知り、担任や時には直接保護者と話をします。担任一人で抱え込まず、職員全体でサポートします。

#### 保護者との関わり

- 職員室で忘れ物を預かる時に「いつもすみません」「ありがとうございます」等のねぎらいの言葉にホッとします。その他、行事などをつうじて保護者や地域の方と接することができたとき。
- 子どもを学校に通わせることが困難な家庭は、さまざまな問題を抱えていることが多いため、せめて経済面だけでもと就学援助制度の受給を勧めたりし、その子が無事卒業出来たときは、その一端を担えたかなと嬉しく思う。

#### その他

- 事務処理以外のたくさんの仕事が学校現場にはあり、それらをきめ細かく行っています。それらに基づき、教育委員会へ予算要求の書類を作り、担当者に説明できます。学校にいるからこそできる仕事だと思っています。
- 実践など取り立てて何もできてないと思うが、職員や子どもが自分の家族だったらと思いながら、人に寄り添うという心がけを大切にしています。そんな私にかけてくれる職員や生徒からのささやかな一言が、今の私を支えてくれていると思います。

## 学び合う力を持っている学校事務職員

#### 子どもとの関わり

- 子供が自分に名前を覚えてくれて声かけしてくれる、自分も積極的に子供に関わろうという気になる。
- 職場に子どもがいるだけで、賑やかで楽しいと思います。清掃活動や休み時間、行事などで子どもと触れ合えるのも良いと思います、そのような職場は学校だけなので良かったです。

#### 職員との関わり

- 学校事務職員には学校全ての情報が集まりやすい。教職員の情報ネットワークの中心にいると言える。学校運営を円滑にするための大変重要なポジションである。学校事務の事務仕事もやりがいある仕事ではあるが、学校の中核の一角を任されているということが、自負であり、生き甲斐である。
- 職員向けに発信した内容について、きちんと伝わっていることを感じられたとき。理解しようと努力している人を見つけたとき。

#### 保護者との関わり

- 忘れ物などを届けに来てくれたときに、その子の良いところや嬉しかった話などを伝えるようにしています。コミュニケーションを促すことで、信頼関係が増し家庭のことなど信号に気づきやすくなります。
- 学校の窓口として誠意を持って対応するように心がけています。保護者が来校されたときに、状況を見極め、他の職員と共に、スマイルで対応しています。保護者の顔を覚えるのも大切です。保護者にとって学校の敷居はできるだけ低い方が良く考えています。

#### その他

- 学校を利用する人たちに、よりよい環境で活動できるようにすることを常に考えています。それには、日常を知ることは必然、学校にいるからこそわかる情報を捉える
- 願いを持ち、企画し、色々な方と関わり合いを持って、事を成し遂げた時にやりがいを感じます。「事務職員は学校の他の職とは違う視点を持っている」と言われます。学校全体を見渡す広い視点、ささやかな事柄にも気を配る細かい視点、そこから気づいた点にどう向き合うか…「それならやってみなよ～」という職場の温かい後押しがあるのを感じます。事務職員は事務処理だけやっていればよいという見方ではなく、教職員全体の一員として、気づいた人に呼びかけよう！取り組もう！という考えです（今風に言えば「チーム学校」）。だから気軽にどうか、「じゃやってみよか」という第一歩が踏み出しやすかったです。私もそんな中で足を引っ張らず、足手まといにならないよう関わっていきたいと思います。